

あしたもともだち

幌延町（幌延町立問寒別小中学校）

1 研究主題

自ら未来を切り拓く子の育成

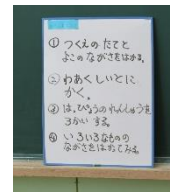
～学びのサイクルを通して～

2 今年度の研究実践

（1）子どもが主体的となって取り組むための教員の関わり

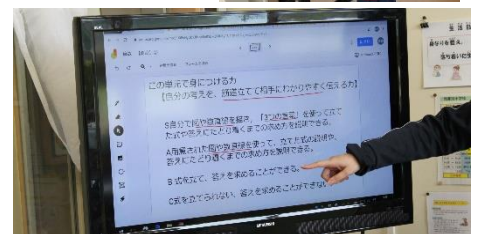
小1・2年 算数（単元名「どちらがながい」）

写真は間接指導時の1年生の様子。問寒別小学校では欠かせない自カタイムを、課題や見通しを子どもと共有することで、様々なものの長さを測る主体的な取組に！



小6年2組 算数（単元名「割合」）

単元導入時には、身につける力を提示することで、子どもの頑張りどころを明確にして課題意識を持たせることで、試行錯誤する粘り強い姿に！子どもの主体性を発揮させるためにも教員が最低限のヒントだけを与え、見守る姿勢も大切なポイントであった。



中1 音楽（単元名「歌曲の形式の違いを観賞しよう」）

写真は鑑賞単元の授業。1回目の鑑賞単元を診断的評価とし、その既習事項を生かした2回目の単元（写真）を形成的評価の場面として設定。それにより、鑑賞時に音楽の要素を盛り込むことを前回のプリントから想起し、鑑賞内容を深める姿へと変容！



（2）子どもの考えを深化するための学習活動および評価

小3年 算数（単元名「わり算を考えよう」）

子どもの考えを深めるための工夫として3つのポイントを設定。

① 既習事項の活用 ② 思考の可視化 ③ 思考の説明

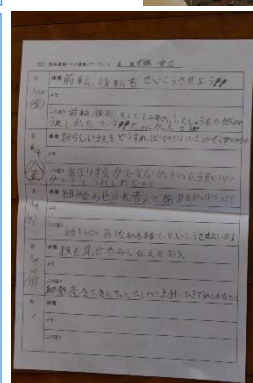
自分一人では解決できない場合、深めるための手立てが様々あり、工夫が凝らされていた。また、評価場面について、指導事項を共通理解させた上でのまとめ問題を設定することで、本時の学びを理解できていたかどうか把握しやすくするなど、評価の機能を生かしていた！



小3・6年 体育（単元名「マット運動」）

マット運動の単元において、複式学級による授業を実施。6年間のマット運動における技能を系統的に示すことで、見通しや個々の課題設定を容易にさせる意図が見られた！

また、毎時間振り返りを行うことで、次回の授業につなげる様子があった。マット運動で行う技能は様々であったが、それぞれの課題に応じて、表現する姿があり、お互いを刺激し合いより向上しようとする姿勢が見られた！



③ アンケート及び研究協議から振り返る研究実践の成果と課題